

# わいふ一番館だより

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968(24)6630

## 【ギャラリー】

### 「紫光会・書初め展」 紫光会

期 間:1月29日(火)~2月11日(月)

会員による小型雅仙紙の書初め作品を審査、展示します。

### 【まちかど資料館】

#### 企画展「土地改良の父 富田甚平」

富田式暗渠排水技術の実物の土管や遺品、紹介パネルなどを展示しています。

期 間:~2月3日(日)

料 間:大人200円、小中学生100円

#### 企画展「西郷どんと菊池一族 Ver.3 その思い／西南戦争」

奄美に残された知られざる西郷どんの家族への思いと、隈府の町に残る薩軍の戦いの軌跡を辿ります。

期 間:~3月31日(日)

料 間:大人200円、小中学生100円

開館時間 午前9時~午後5時

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

※12月29日(土)~平成31年1月4日(金)は休館。

# 交流の絆 ~姉妹友好都市通信~ ⑨

問い合わせ先 市長公室 ☎0968(25)7252

## 友好都市の韓国金提市から訪問団が来菊

11月2~4日の3日間、韓国の金提市から、チョン・デシク副市長をはじめ7人が本市を訪問しました。

訪問団は、3日に泗水孔子公園で開催されたすいコスモスマラソンに参加。開会式では全員でステージに上がり、チョン・デシク副市長が本市との交流にふれ、挨拶を行いました。マラソンでは、市民からの声援を受けながら、コスモス咲き誇る泗水路5キロコースを全員が完走。その後、菊池温泉で汗を流し、美肌の湯を堪能しました。

訪問中は朝鮮半島にゆかりのある鞠智城や、竜門ダム、紅葉に染まる菊池溪谷を視察するなど、菊池の歴史や自然を満喫していました。



ゴール後に笑顔を見せる訪問団

チョン・デシク副市長は「今後も友好の絆を50年先、100年先と続けていきたい」と感謝を述べました。

## ふるさと「緑の便り」 菊池グリーンツーリズム

問い合わせ先

きくちふるさと水源交流館  
☎0968(27)0102

### きくちツーリズムの推進

平成29年の訪日外国人旅行者は2869万人(速報値)を数え、その旅行消費額は4兆円を超えると推定されています。政府は2020年までに外国人旅行者数4千万人、旅行消費額8兆円を目標に掲げ、さまざまな施策に取り組んでいます。

人口減少や都市部への一極集中などによる地域経済の低迷が予想されますが、その解決策の一つとして観光振興、つまりインバウンド推進による外貨獲得に大きな期待が集まっています。菊池市でも市外、県外、国外の人を呼び込むツーリズムの推進がカギとなります。

ツーリズム推進というと、レジャーという狭い世界で捉えてしまいがちですが、商工、農業、交通などさまざまな分野と関わりがあり、推進にはその連携が不可欠です。

未来に向かう「きくちツーリズム」を進める機会は、今でしょう。



外国人との交流



## 韓国発見シリーズ⑥ 「ほんごちは金です」

### 「ヒーリング産業」の全盛時代

韓国の有名な月刊誌「新東亜」9月号によると、韓国では年々一人世帯が増加している。2045年には世帯全体の3分の1を超えるという見通しだ。そのため最近では孤独に対処するための「ヒーリング産業」が全盛期と報じられた。韓国リサーチの調査結果を見ると、一人世帯回答者のうち10%は「孤独感を感じていない」と答えたが「おおむね寂しさを感じる」が11%、また「よく寂しさを感じる」が30%で、結果、一人世帯の41%が生活に孤独感があることが分かった。このような背景もあり、一人の自由は確保しながらも心理的な慰めを得ようとする人々のための「ヒーリング産業」が大きく成長している。

まず身近なところでは、心のセラピーを扱った本が人気だ。米国の心理学者ピーター・ホリンズの著書はとても人気で、出版後、売上ベストセラーの上位圏を常にキープしているようだ。

2番目に挙げられるのは、若者の間で人気の、スマートフォンを利用して匿名で心理カウンセリングを受けられるアプリ。相談専門資格取得者などカウンセリング

会社が定めた基準を満たした相談員を採用し、モバイルで相談を受け付けるアプリの加入者は40万人にも上るといふ。

3番目は「ペット型ロボット」だ。最も注目されているのは子犬型ロボット「アイボ」だといふ。本物のペット犬と変わらないような行動を取るそうだ。

4番目は、最近発売されている、人間と基礎的レベルの対話ができる「人工知能(AI)スピーカー」だ。科学技術が人間の話し相手である。

ある精神科専門医は「最近の人の多くは、うつ病や無気力症として来院するが、本当の問題は心の奥深いところに寂しさがある場合が多い。人間は他人の反応に大きく影響される存在だ。自分が何かを上手にやっても褒めてくれる人がいなければ、人生の意味を失ってしまう」と話した。

本当の満足とはパートナーで買う「物」ではなく、誰かを愛したい、愛されたい。認められたいという「心」の満足だと思ふ。



国際観光マネージャー  
金 相延